

おもちゃ箱あおばの森 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表【集計結果】

公表：2024年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ■小学生に対して、身体を動かす分には正直手狭かもしれません ■学習など机上で行う活動では程よい広さで集中できるかと思います
	②	職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■小学校教職免許を所持している職員を配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ■基本的にはフラットな作りですが事業所玄関前に1段、洗面スペースに2段の段差があります
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■朝夕にミーティングを行い、情報の共有と振替を実施しています
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■おもちゃ箱のホームページに記載してあります
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■事業所内での研修の実施、また外部研修やオンラインセミナーに定期的に参加しています
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■スタッフ間での会議を経て、少なくとも半年に1回は保護者と面談し分析したうえで作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■1か月のプログラムを決める話し合いをチームで行っています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■日ごとのプログラムを立て、2週間ごとに内容を計画しています

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			■平日や長期休暇に応じて活動時間や活動内容を変更しています
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			■個々の状況に応じて作成しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			■毎朝ミーティングをし確認しています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			■毎日振り返りを行っています ■送迎などで参加ができなかった場合には記録を確認したり口頭で伝え共有しています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			■少なくとも半年に1回は行っています
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			■児童発達支援管理責任者がFaxで情報を共有しています
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			■送迎時などに情報共有し適切に連絡調整を行っています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				■該当の児童がおりません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	■小学校3年生までの受入のため該当の児童がおりません
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			■オンラインを中心に専門機関主催の研修やセミナーに参加しています

	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			■送迎時などに直接お話ししたり電話などで共有しています
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	■ペアレントトレーニング研修受講済みのスタッフはおりますので今後開催出来たらと思います
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			■契約時に説明しています
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			■送迎時などに直接お話ししたり電話などで相談を受けております
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	■保護者会の開催を予定しています
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			■送迎時などに直接お話ししたり電話などで相談を受け迅速に対応するよう努めています ■内容については記録をとっています
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			■毎月おたよりを発行し保護者に配布しています ■HUG成長療育支援システムを利用し情報の発信をしています ■SNSを通じて活動の様子を定期的に発信しています
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			■業務中はスタッフ個人の携帯電話は使用せず事業所のタブレットを使用しています
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			■日本語が得意ではない保護者の方にはひらがなだけの表記にしたり伝わりやすい表現にしています
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	■完全に周知はできていないので今後周知するよう努めます

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■直近では2024年2月16日に実施しました ■できるだけ多くの児童に参加してもらえるように期間を長くするなど工夫します
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■虐待防止委員会にて1年に1度研修を実施しています
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■虐待防止委員会内に身体拘束に関する事項が包括されています ■実際にやむを得ず身体拘束を行わなければならない状況の際には虐待防止委員会を緊急招集し組織的に決定します
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ■該当の児童がおりませんが今後該当の児童がいらした場合は契約時に確認し指示書に基づき対応します
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ■都度内容の確認と対応策を話し合っています